

2024 年までに従業員 500 名の国家資格「眼鏡作製技能士」取得を目指して。社内教育機関「JINS Academy」を設立！

お客様のメガネ選びから作製まで、全工程の知識と技術を国から認められた従業員を全店舗に配置することで、より安心かつ満足度の高いサービスを提供

株式会社ジンズ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田中仁、以下 JINS）は、2022 年に新設される国内唯一の眼鏡の国家資格「眼鏡作製技能士」を今年から 2024 年の間に 500 名の従業員が取得することを目指し、資格取得を目的とした社内教育機関「JINS Academy」の設立及び従業員への教育研修を担当しているトレーナー職などの従業員に対する外部眼鏡専門学校への就学支援の 2 つのサポート体制を開始します。

「全店舗に国家資格取得者が在籍」を目標に掲げ、充実した教育体制を構築

これまで日本にはメガネに関する国家資格はありませんでしたが、2021 年 8 月に厚生労働省の省令改正により技能検定「眼鏡作製職種」が新設され、2022 年 3 月より国内初のメガネの国家資格「眼鏡作製技能士」がスタートします。「眼鏡作製技能士」とは、多様化・高度化する生活者のニーズに対応し、「適切な診断・治療」と「適切な眼鏡作製」双方の実現に向け、眼鏡作製者が眼科専門医と連携し、生活者にとってより良いメガネを提供するために知識・技能の向上を目指すことを目的とした国家資格です。これに伴い、業界共通の「ものさし」として客観的に技能を評価できるようになり、お客様がより安心してメガネを購入することが可能となります。

JINS は、“Magnify Life（マグニファイ・ライフ）＝人々の生活を拡大し、豊かにする”というビジョンを掲げ、これまでお客様にご満足いただける店舗運営と、従業員の接客レベルの向上に努めてきました。今回の国家資格新設を受け、資格取得者を社内で育成し国内の全 452 店舗（※2022 年 1 月末時点）に配置することで、これまで以上に安心かつ満足度の高いサービスの提供が可能になると考えます。また、高い能力を持つ人材資源の開発に注力することは、個人の活躍の場を拡げることにもつながり、JINS の持続可能な成長や、社会のダイバーシティ&インクルージョンにもつながります。そこで JINS では、2023 年の内に計 150 名、2024 年の内に計 500 名の従業員が国家資格を取得することを目指し、どこよりも充実した教育体制を整えました。

国家資格取得に向けた 2 つのサポート体制。①勤務時間内に講習を受けられる「JINS Academy」②修了時に学科試験が免除になる外部の眼鏡専門学校入学支援

国家資格取得を目指す従業員向けに新たに 2 つのサポート体制をスタートします。1 つ目は、2022 年 3 月に新たな社内教育機関として設立する「JINS Academy」です。受講対象者は資格の学科試験を受験時に「勤続年数 2 年以上」かつ社内で定めるスキル検定に合格した JINS の従業員。e ラーニングを活用した学習や全 12 回を予定している学科研修、実技試験に向けた講習を経て、最短で 1 年半での資格取得を目指します。2 つ目は外部の眼鏡専門学校通信科への就学における費用一式の支援です。眼鏡専門学校の通信科を修了すると、資格試験における学科試験が免除となるため、資格取得への確実なサポートが可能になると考えます。ただし、専門学校には定員があるため、JINS 社内で従業員の教育を担当しているトレーナー職や、優れた技術を有する従業員のみにも与えられる社内資格「JINS マイスター」の所持者など、既に高い技術や知識を習得している従業員が支援の対象となります。国家資格を取得した従業員には、合格祝い金の支給や給与の増額も予定。これにより従業員のモチベーションやエンゲージメントの向上を図っていきます。

JINS はこれからも従業員の人材資源開発に努めることで、お客様に高水準のサービスをご提供するとともに、持続可能な企業や社会の実現を推進していきます。